



いきいき

小富士っ子



R4学校便り No. 7

令和4.6.17

四国中央市立
小富士小学校



子どもたちが、ツマグロヒョウモンが羽化したと見せに来てくれました。パンジーの花にいた幼虫を教室で飼い、エサやりをし、羽化させたようです。

自然とふれあい、生き物の命を大切にする。そんな温かい心が育っている子どもたちです。

15 陸の豊かさも
守ろう



顔のない記念碑について教えていただきました

6月10日、4年生が八坂神社にある「顔のない記念碑」の見学に行きました。当日は、暁雨館の学芸員さんをお願いし、分かりやすく説明していただきました。

安藤正楽さんが、藤原の人たちに頼まれて建てた「日露戦役記念碑」。明治時代に「世界人類のために忠君愛国の四字を滅すにありと予は思う」と戦争反対を訴え、そのために碑文を消すこととなってしまい「顔のない記念碑」と呼ばれています。正楽さんの人権尊重、平和への思いが詰まった記念碑です。

子どもたちの感想を紹介します。

削られた理由は、戦争反対と書いていたからだということが分かりました。その時代は、そういうことを書いてはいけなかったけれど、安藤正楽さんは、戦争は恐ろしいものだから、もう二度と起こらないようにと願って書いたのが分かりました。警察に見つかってそういうことを書かないように言ってこわそうとしたけれど、みんなでこめた願いを壊さないでほしいと言いました。削られるだけですんだけれど、本当はそのままにしてほしかったと思います。これだけ大きい石は簡単には見つかりません。それほど大事にして、みんなで協力して手間ひまかけて、それだけ思いを伝えたかったのだと思います。

学芸員さんのお話を聞いて、知らないことも分かりました。分かったことは、正楽さんは、誰よりも人の命を大事にしていることが分かりました。

学芸員さんにお話を聞いて、記念碑の高さは2m、横1m10cm位だということが分かりました。そして、顔のない記念碑は、たがねとトンカちを使ってけずられたことも分かりました。

藤原だけで、戦争に37名参加して、8人はけがをし、2名は戦死したことも分かりました。安藤正楽さんは、明治法律学校に入ったことも分かりました。学芸員さんの話を聞いて、いろいろなことが分かりました。

顔のない記念碑が削られた部分に最初に書いていた文字がうっすら残っていました。文字をほった人は、つつみさんと香川さんです。安藤正楽さんは、周りの人を一番気にしていて、優しい人だということが分かりました。

10 人や国の不平等
をなくそう



16 平和と公正を
すべての人に

